



考 動

川西市立東谷中学校

学校便りNo.18 (2.11.20)

発行者 校長 足立 仁志

新型コロナウイルス 感染拡大 (第3波)

第1波の時のような緊張感を

全国的に新型コロナウイルスの感染が再び拡大しています。中でも大阪府、兵庫県は、感染者数が急増しています。近隣の学校でも感染者が確認され、学級閉鎖等の措置が取られています。にもかかわらず、みなさんの学校生活の様子を見てみると「新しい生活様式」はどこへ行ったの? と言いたくなる時もあります。大声で会話をしたり、手をつないで廊下を歩いたりする姿は、休み時間になるとよく見かけます。

第2波の後、一度小康状態となり、学校では行事や部活動等多くの活動が再開されました。気が緩むのも仕方ないことかもしれませんが、しかし、みなさんにとってはつらいことかもしれませんが、もう一度自分たちの生活を見直してください。

家族の命を守る行動です

夜の街を中心に若者の間で広まった第2波の時と違い、今回の第3波では、高齢者の感染が増えています。家庭内で感染が広がるケースが増えていることが原因として考えられます。高齢者の方は、重症化するリスクが高く、同居する家族に高齢の方がおられる場合は、必要以上に感染対策に注意しなければなりません。

自分の健康や命を自分で守ることは、もちろん大切なことですが、自分が家庭内にウイルスを持ち帰ることも避けなければなりません。みなさんが感染対策をしっかりと行うことは、自分だけでなく家族の命や健康を守ることにもつながるのです。



学校での行動を見直しましょう

- **検温**をし、「健康観察記録カード」に記入してから登校していますか。
- 教室での授業だけでなく、友達と会話するとき等も**マスクを着用**していますか。
- トイレの後や食事の前の**手洗い**をせず、**アルコール消毒**で済ませていませんか。
(実技の授業や部活動で用具を共用する場合も、活動の前後で手洗いを)
- **密接**はダメ。友だちと手をつないだり、肩を組んだりしていませんか。
- 教室の**換気**はできていますか。休み時間に換気をしていますか。換気扇は回っていますか。授業中も対角線に窓や扉が開いていますか。

感染発症時等の対応

<感染者となった場合>

出席停止となります。学級閉鎖・学年閉鎖・臨時休業等については、教育委員会と伊丹健康福祉事務所(保健所)が相談の上、判断します。必要に応じて、校内の消毒が行われます。

周囲の生徒が濃厚接触者となるかどうかは、マスクを着用していたか、会食を共にしたか等も調査した上で決められます。面倒なこともかもしれませんが、濃厚接触者を増やさないために、マスクの着用や会話をしない食事を心がけましょう。

<濃厚接触者となった場合>

伊丹健康福祉事務所から出席停止期間が指示されます。PCR検査を受けることとなります。

<発熱がある場合>

37.5℃以上の発熱がある場合は、出席停止となります。解熱し、風邪症状が見られない場合は登校可能となります。

<家族が濃厚接触者となった場合>

登校可能です。不安があり登校を控える場合は、出席停止とします。
(ご家族が濃厚接触者となった場合も、学校に連絡をしてください)

感染者へのいじめは絶対に許されません

感染者に対するいじめが、全国各地の学校で報告されています。しかし、どんなに気を付けていても感染を100%防ぐ方法はありません。感染した人が悪いのではないのです。

今は誰もが不安になる時です。だからこそ、自分たちはどのような集団なのかを考えてほしいと思います。いじめは、それが許される集団で発生します。もし、みんなで励まし合えるような団結力のある集団であるなら、いじめが起きることはありません。

生徒の感染が判明しても、その情報は一切公開しませんが、登校できない日が連続すると、感染したことが周囲の人にわかるかもしれません。もし、集団から感染者が出たことがわかった時は、自分がどう行動するべきか考えてください。そして、東谷中生のみなさんには、その人が治ってきたときに温かく迎えてあげられる人であってほしいと思います。

保護者の皆様へ

新型コロナウイルスの感染が再び拡大する中、お子様の登校に関しては、何かと不安を感じておられることと思います。校内における感染対策には十分に注意をしていますが、まだまだ完全ではありません。引き続き努力を続けなければならないと感じています。ご家庭におかれましても、感染対策や検温等で引き続きご協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。